

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 140

1998年

1～2月号



明けましておめでとうございます

カッパの群像から墳き上がる水煙の向こうに掛け替わった手賀沼大橋が見え、沼南町側には北千葉導水路の施設も完成し、手賀沼の景観も年毎に変っていきます。

一方で昔ながらの水辺の景色を保存しておきたいと思う人達も多いのです。

最近、我孫子市では谷津田をエコミュージアムとして公園にする企画を発表しました。候補地の谷津田は休耕田が多く、乾燥化が進み、斜面緑地も面積が少ないとはいえ、小道を歩くとクヌギや

シラカシのドングリが沢山落ちていたり、ムラサキシキブ、ガマズミが色鮮やかです。群生するガマの穂、秋空にサシバの声、畑地にキジが見えたりするこの谷津田は市内ではわずかに残った貴重な自然空間です。

市民参加で多少の手を加え、水草の生える池や湿地を作り、水田を復活させ、水辺林の植生が整ってくればこの谷津田は四季折々野鳥や昆虫などに出合える市民の散策地になります。

我孫子の自然遺産を残すため会員の皆様の参加を待っています。

会長 木村 稔

☐ 行事案内

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 今年はどうな鳥達とめぐり会えるでしょう。最初の定例会、鳥も人もたくさんの出会いを期待します。
正午頃解散
担 当 染谷、大久保、向井

幹 事 会

期 日 1月11日(日)
集 合 水の館 会議室 午後1時半
議 題 来年度の行事予定その他
担 当 西巻ほか

コハクチョウの菅生沼を訪ねる会

期 日 1月18日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 枯れたヨシやマコモに囲まれて沼の面が見える。菅生沼(茨城県)はありのままの自然をよく残しているところです。コハクチョウは例年100±、カモ類のほかミサゴやオオタカも期待できます。
交 通 自家用車分乘で行きます。同乗者は1人1,000円を運転者にお支払い下さい。
持 参 観察用具、昼食、飲物(途中購入も可)
◎防寒対策をしっかりと。
申込み クルマを出して下さるかた、同乗者とも次へ電話して下さい
(0471)87-2222 島崎純造
担 当 島崎、安本(現地案内)

親水広場の探鳥会のお手伝い

期 日 1月24日(土) 雨天実施
集 合 水の館 午後1時50分
案 内 親水広場主催の野外観察スクールのお手伝いです。小学生など約30名。
遊歩道で観察。雨天時は鳥博の見学など。

子供相手は手がかかります。多数の参加を願います。電話をくださいTel.84-7809

担 当 西巻、染谷

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月8日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ達が最高に美しいときです。寒さに負けず観察いたしましょう。思いもしなかった遭遇があるかもしれません。
正午頃解散
担 当 染谷、向井、大久保

12紅と赤い鳥探鳥ツアー'98

期 日 2月28日(土)~3月1日(日)
集 合 我孫子中央公民館 午前8時
交 通 今井観光のマイクロバス
宿 泊 長野県中軽井沢町塩壺温泉ホテル
(0267-45-5441)
費 用 1人当たり24,000円程度(バス・宿泊・高速道・旅行傷害保険・雑費含む)、集合時一旦この額で集金し、清算します。
案 内 レンジャクやアトリ等の冬鳥との出会いが期待できる軽井沢を訪ねます。昨年レンジャク2種と出会えた長倉神社周辺や別荘地の中をじっくり散策してみます。この他、周辺の冬鳥探鳥地にも立ち寄る予定です。宿舎は、いろいろな冬鳥がロビーから観察できるところです。申込後、詳細のご案内をお送りいたします。
持 参 観察用具・防寒具・雨具・洗面道具・常備薬・28日の昼食(途中購入可能)
申 込 1月5日以降のこと
飯泉(0471-75-6017)迄
定員20名とさせていただきます。
担 当 飯泉(仁)・(久)、小玉、佐々木、間野

◎ 行 事 報 告

○手賀沼カウント

調査日時 1997年10月12日			
曇り 9:20~12:00			
<カウント班>飯泉 仁・久美子、以上2名 <探鳥班>佐々木 隆、大久保睦男、角川優三、 向井章雄、関谷元吉、立川節子、宮下三禮、関口 喜三郎、小野勇亮、間野吉幸、染谷迪夫、武藤康 之、大野真澄、島崎純造、赤尾 完、折原淳二、 首藤佑吉、田中 斉、梅村康之、村井 治・登代、 西城 猛、田丸喜昭・メリールイス、坂巻宗男、 川村 新、中村吉男・香奈子、西巻 実、高橋敏 彦、針谷澄子、以上31名、合計33名			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	18	9	27
カワウ	15	49	64
ゴイサギ	8	1	9
ダイサギ	3	23	26
チュウサギ	0	1	1
コサギ	6	34	40
アオサギ	28	19	47
コブハクチョウ	2	9	11
マガモ	0	1	1
カルガモ	99	46	145
コガモ	101	50	151
ヒドリガモ	0	23	23
オナガガモ	3	18	21
ハシビロガモ	0	11	11
キンクロハジロ	0	2	2
スズガモ	3	0	3
バン	3	0	3
オオバン	4	17	21
コチドリ	2	0	2
トウネン	3	0	3
ハマシギ	3	0	3
タシギ	0	3	3
ユリカモメ	4	71	75
計23種	305	387	692

<他に認めた鳥>◆ヨシゴイ、◆ホシハジロ、◇キンクロハジロ、チョウゲンボウ、◆キジ、◆シロチドリ、◇ハマシギ◇タシギ、◆セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキ

レイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ノビタキ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、以上21種、合計44種

○手賀沼清掃で出会ったものは

飯泉 仁

10月12日の午後は、会員諸氏と一緒に沼南町側の手賀沼沿岸の清掃作業を行った。

ちょっと億劫だし、なんで町民でもないのに沼南町のごみを拾わなくちゃいけないのという気持ちがないといたらうそになる。でも、参加の会員諸氏の顔を見ているとそんなことはおくびにも感じさせないところが我が会の財産だ。

♪五番街のマリーの歌詞カードが語るもの

沼南町染井新田周辺の清掃作業をしていたときに見つけたごみは、何かさびしさを感じさせるごみだった。ふとん一式、台所用品、オーディオと何枚かのローマ字で書かれている歌詞カードが手賀沼の土手下のアシ原に捨てられていた。普段、人様のごみなど詮索する習慣も興味もないのだが、こういう清掃作業を行えばいやがおうでも目にしないわけにはいかない。中でも、ごみの中の歌詞カードは、ローマ字で、おじさん達に絶大な人気のある高橋真梨子嬢の歌う「五番街のマリー」の歌詞が綴られていた。「きっとこれを書いたときは、日本で仕事をしてゆく希望とか夢だとかで一杯だったのだろうけど」と誰かがつぶやいた。捨ててあるごみに善し悪しをつけてはいけないうだけども何かおじさん達の胸に感じさせるものがあった。

身近な自然を見つめるということ

普段、野鳥を見るときにしか手賀沼のほとりに立たない人がほとんどだし、鳥や虫や草の目から見ると今ある自然環境がどうなんだなんてことは考えないのがほとんどだ。でも、半日たらずでも手賀沼周辺をじっくり見てみると、自分たちで変えることができるものが転がっている。捨ててあるごみは論外だけれども、名前がわからない小さな草が花を咲かせたあとを見つけたりすると今までは汚いから引っこ抜いてしまえと思っていたもの

の価値観が変わってくる。こんなことが、手賀沼周辺の住民にもっと広がっていったらいいなと清掃作業をされていていつも思う。次回もっと沢山の人が参加してもらえることを期待して。

<参加者>村井 治・登代、間野吉幸、染谷迪夫、向井章雄、小野勇亮、佐々木 隆、坂巻宗男、角川優三、首藤佑吉、赤尾 完、梅村康之、飯泉仁・久美子、西巻 実、立川節子、田丸喜昭・メリールイス、以上18名

○あびこ子どもまつり

(10月25日) 首藤美恵子

おまつりにふさわしい良いお天気に恵まれました。年毎に参加団体が多くなり手賀沼公園はいっぱいの人でうまりました。

当会は昨年続き、飛ぶをテーマに染谷さんが用意して下さった種の模型を飛ばしたり鳥の羽を飛ばしたりしました。今年から新しい試みとしてウォーキングをするコースの中に1ポイントのみですが、バードウォッチングをする所を加えていただきました。

初めて鳥を見ると言う子供達が多く、(もちろん大人たちも多かったのですが)“これ本物ですか”とか、“生きていますか”とかいろいろな反応がありました。

こんな小さなきっかけから自然が大好きな人が多くなるといいですね。

<参加者>染谷迪夫、向井章雄、赤尾 完、飯泉仁・久美子、西巻 実、島崎純造、首藤佑吉・美恵子、佐々木 隆、間野吉幸、野口幸子、以上12名

○バードカービング展のお手伝い報告

西巻 実

【1】11月1日

初めての全国展は力作が3百点以上ならば、壮観です。微細な点まで再現されていて驚きました。私達はこんなに近くで鳥を見ていないので、どうやって情報を集めるのか不思議に思いました。例えばタシギの雌雄一対など、雌雄でどう違うのか、私には知識もありませんし、二つを見比べても

ちょっとわかりませんでした。また、優れた作品は、羽毛の柔らかさが感じられ、木のかたまりとは思えず、つくづく感心しました。

この全国展は今後毎年我孫子市で行われるようで、次回がたのしみです。

【2】11月2日

バードカービング協会員は少年自然の家に宿泊し、2日、早朝探鳥会を行い、そのお手伝いをしました。約40名の方が参加。前夜2時ころまで飲んでおられたとか、それにしても皆さんお元気で、当会の一泊の時に負けないと思いました。

カーバーは鳥の声よりも見るほうが役立つとのことで、まず沼べりへ。カモたちはまだ小数だが各種がいました。内山さんがカワセミを発見。少し遠いけれど盛り上がりました。手賀の丘公園にもどり、沢すじでキセキレイを見て美しい黄色を楽しんで終わりにしました。

【当会の参加者】

〔1日〕小島経一、首藤佑吉、美恵子、佐々木隆、西巻 実、間野吉幸、赤尾 完、小野勇亮、染谷迪夫、松田幸保、田丸喜昭、田中 齊 12名

〔2日〕木村 稔、首藤佑吉、美恵子、赤尾 完、染谷迪夫、間野吉幸、西巻 実 7名

【お詫び】

行事案内では1日～3日まで、朝から一日中お手伝いするようお知らせしましたが、その後、1日の午後と2日の早朝だけになりました。みなさまにお知らせできず、水の館で迷われた方があったのではないかと心配です。ご迷惑をかけた会員には深くお詫び申し上げます。事務局

仮称 手賀沼流域フォーラム

副題 暮らしの中の手賀沼

日時 2月7日(土) 午後1時～4時半

場所 柏市文化会館

第一部 朗読 佐々木 愛氏

第二部 事例発表 当会を含む3団体

第三部 パネルディスカッション

この行事は、我孫子市、柏市、沼南町の主催で行われます。(一部訂正になるかも知れません)当会は、第二部で飯泉 仁、第三部で首藤美恵子が予定されています。

○手賀沼カウント

調査日時 1997年11月9日			
晴れ 9:20~12:00			
＜カウント班＞飯泉 仁・久美子、以上2名			
＜探鳥班＞赤尾 完、関口喜三郎、渡辺正広、小野勇亮、佐々木 隆、橋本 清、梅村康之、加藤文夫、田中 斉、安本昌彦、宮下三禮、間野吉幸、村井 治、向井章雄、秋谷 稔、立川節子、西城猛、中村吉男・加奈子、田丸喜昭・メリールイス、木村 稔、西巻 実、幸田行生・達彦、野口幸子、鈴木かね子、高橋敏彦、川村 新、小玉文夫・信子、小倉希代子、猪爪敏夫、以上33名、			
合計35名			
鳥種	上沼	下沼	計
カイツブリ	8	13	21
ハジロカイツブリ	0	1	1
カンムリカイツブリ	0	2	2
カワウ	18	80	98
ゴイサギ	0	8	8
ダイサギ	6	1	7
コサギ	5	5	10
アオサギ	11	12	23
コブハクチョウ	0	13	13
マガモ	45	17	62
カルガモ	35	34	69
コガモ	130	92	222
オカヨシガモ	47	14	61
ヒドリガモ	2	1	3
オナガガモ	13	4	17
ハシビロガモ	8	97	105
ホシハジロ	3	57	60
キンクロハジロ	9	5	14
ミコアイサ	0	6	6
バン	1	4	5
オオバン	29	14	43
シロチドリ	1	0	1
ユリカモメ	37	39	76
セグロカモメ	2	0	2
計24種	410	519	929

＜他に認めた鳥＞チョウゲンボウ、◆トビ、◆キジ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、◇ウグイス、◇シジュウカラ、

メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、◆クイナ、以上25種、合計49種

○環境いろいろ展報告

11月16日 西巻 実

親水広場主催の環境展に、昨年につづき「庭に鳥を呼ぼう」と「鳥を見よう」をテーマに今年も参加しました。参加団体も増え、鉛細工や演奏などのパフォーマンスもあって例年より賑やか。

当会のブースは、餌台、鳥の好きな実のついた木の枝、バードケーキ、鳥の糞から生えた苗木、それから鳥の写真。沼の方向には望遠鏡がずらり。

西城さん力作の餌台と巣箱の実費販売は大変な人気で半日で売り切れ。「子供通信員募集」も予定人数に達し、なかなかの結果でした。ただし会員募集は0。皆さん会員になりそうな人を探鳥会につれてきてください。

【参加者】赤尾完、飯泉仁、久美子、梅村康之、小野勇亮、木村稔、正子、西城猛、佐々木隆、島崎純造、首藤佑吉、染谷迪夫、西巻実、野口幸子、間野吉幸、向井章雄 16名。

○少年自然の家の探鳥会のお手伝い

11月22日 雨天のため中止しました。



鳥と木の実

首藤美恵子

雑食性では人間に最も近いのではないかと思われるくらいカラスはゴミ集積場のビニール袋を手あたり次第につつきいろいろな物を食べますが、先日、林の中で大きなオニグルミを啜えたカラスに出会いました。カラスは嘴でこれを割って食べることが出来ませんが、以前テレビで見たカラスはクルミを路上に置き自動車を轢かせて割っていました。しかし成功率は低く何度も位置を変えていました。私が見たカラスは啜えたまま飛び去り、すぐに戻ってきました。どうしたのでしょうか。

北海道根室市には道路に沿ってナナカマドが沢山植えられています。雪の降る季節でもしっかりと赤い実をつけています。このナナカマドにキレンジャクが群れているところを見ました。もうすこし南下すれば気温も暖かく食物も豊富なのにこの厳寒の地に留まるのは、ナナカマドがよほど美味しいのでしょうか。一度味わってみたい気がします。

エゴノキの実の熟れた割れ目から中の黒い色が見え出すころ、どこからともなく現れるのがヤマガラです。エゴノキの実には毒があり、かつては河漁に使われていたそうです。この実を水中に投げ毒にあたって浮き上がった魚をすくうのです。さすがに今は禁止されています。ところがヤマガラは毒にあたるどころか、この実を食べその上せせと木のうろに運び貯蔵します。

サルトリイバラの実がついた蔓はクリスマスのリース作りの格好の材料です。私は毎年、実が青いうちに目をつけておき実が色づいた頃に採りに行きますが、行ってみるといつも実を食べられたあとです。どんな鳥が食べているのか見たことがありません。ご存じの方がいましたら犯鳥の名前を教えてください。

エゴノキの実を食べるのはヤマガラ以外見たことがありませんが、ムクノキの実はいろいろな鳥に好まれています。ヒヨドリ、ツグミ、アカハラ、カワラヒワと入れ換わり立ち換わり実を食べています。時には鉢合わせになった鳥同志で争いがおきています。カワラヒワはイヌシデにも群がります。まるで高校の学生食堂のように賑やかな食事風景です。それに比べクマシデに来るシメの群れ

は静かで慎ましく小ぎれいなフランスレストランの雰囲気です。

虫ばかり食べていると思っていたコゲラが木の实を食べるところを唯の一度だけ見たことがあります。残念なことに、遠くて木の種類を判定できませんでした。その実には陽光を浴びて艶やかに赤く輝いていました。

このように木の実と鳥との関わりを見ながら鳥が生息する林や森を考えて見ますと、新緑の頃子育ての為に樹木にいる虫をせせと幼鳥に運び、実りの秋には実をごちそうになり、糞にまじえて種を運びます。

鳥たちは種蒔きから害虫退治まで関わって林や森を育てるのに一役かっているのでしょうか。

(注) コゲラの食べ物について

「日本鳥類大図鑑」清棲幸保著によれば、動物性の食べ物以外に植物性の食べ物として、ハゼ、ヤマウルシ、ヌルデ、ツタウルシ、ミズキ、アケビ、ツルマサキ、ウコギ、などの漿果を好んでつばむとあります。

モズが「はやにえ」を作った

西巻 実

11月5日朝6時半ころ、モズが飛んできて葉の落ちた木の梢にとまった。なにかをくわえている。朝もやで日はあたらず、双眼鏡で見ても明るい空にシルエットにししか見えない。体側に白斑があるのでであることはわかったが、くわえているものが分からない。長さ2~3cm太さ数mmで2cm位の細い棒状のものがぶらさがっている。いも虫から中身がぶら下がっているのか、昆虫の脚が一本残っているのか不明。

モズは梢のあちこちと移動して餌を枝に押しつけて、枝の先から元の方向にこすりつけている。短い枝か芽に突き刺そうとしているようだ。なかなかうまくゆかないが案外根気が良く、繰り返し場所を変えてはやっている。私の方が、無理な姿勢で上を向いているので苦しくなるが我慢する。しばらく繰り返し、やっと成功した。この間、長く感じたが数分か。モズは枝でくちばしを拭って、満足そうにあたりを見回してから飛び去った。

はやにえの目的は貯食から始まったと、何かで読んだように思うが、今作られた場所は高い木の

梢で、よく鳥がとまる場所である。多分、簡単に他の鳥に見つかると思われ、いったい何のために作るのか？作るときの熱心さから、作ることが楽しく、作ること自体に目的があるようにすら見える。モズがホビーを楽しむのか？まさか!?

“鳥だより”

09. 05〔岡発戸〕ダイサギ(1)、コサギ(1)、サシバ(1) 首藤佑吉・美恵子
09. 17〔東我孫子1〕チョウゲンボウ(1) 首藤美恵子
09. 29〔高野山〕アマツバメ(120) 上空を次々に南西へ、ショウドウツバメ(50)南西へ 笹川昭雄
09. 30〔高野山〕カケス(5) 朝9時ころ日立研修所の森で飛ぶ、フクロウ(1) 夕方電柱でギャハギャハと無く(♀または若鳥か)、アマツバメ(多数) 上空を飛翔 笹川昭雄
10. 01〔天王台2〕シジュウカラ(2) 首藤佑吉・美恵子
10. 01〔北新田〕ムナグロ(14) 飛ぶ、カケス(2) 飛ぶ
10. 02〔北新田〕ノビタキ(3) 葦から飛上がり捕虫
10. 04〔北新田4号排水路〕ヨンゴイ幼(1) 警戒
10. 05〔上沼〕オシドリ♂(1) 繁殖羽根、投げたパンを食べる 以上 西巻 実
10. 05〔日の出〕チョウゲンボウ(1) 上空で旋回 首藤佑吉
10. 06〔天王台3〕モズ(1♀) 高鳴き 首藤佑吉・美恵子
10. 06〔沼南町大井新田〕イカルチドリ(1) 田から飛び立ち鳴きながら堀へ降りる
10. 06〔上沼〕オカヨシガモ(17) 初認
10. 06〔下沼〕ホシハジロ(7) 初認
10. 06〔沼南町手賀新田〕アマサギ(7)
10. 06〔手賀川水道橋〕ショウドウツバメ(7)
10. 06〔沼南町千間橋〕トビ(1)
10. 06〔沼南町岩井新田〕コサギ(1) 養魚場で太めのビニール被覆電線の上を数歩歩いた 以上 志賀鉄雄
10. 07〔北新田〕チュウサギ(1) くちばしの元



- 黒先黄、黒化中? 西巻 実
10. 07〔湖北台東小斜面林〕コゲラ(1)、シジュウカラ(1) 囀り 赤尾 完
10. 09〔布施〕カケス(3) 飛ぶ
10. 10〔北新田〕チュウサギ(1) 嘴が黒、10月07日と同一個体か?、ノビタキ(3) 葦から飛上り捕虫 以上 西巻 実
10. 11〔北新田〕ヒヨドリ(10) 北から西へ、ノビタキ(1)
10. 11〔北新田先利根川〕ショウドウツバメ(160+) 以上 西巻 実
10. 11〔柏市弁天下3号排水路〕クサシギ(4)
10. 11〔柏市弁天下〕シギSP(14)
10. 11〔上沼〕ユリカモメ(109+) 東から西へ、オカヨシガモ(35)
10. 12〔沼南町手賀の丘公園〕ヒヨドリ(30) 東から西へ 以上 志賀鉄雄
10. 12〔沼南町片山新田〕アマサギ(3) 水田で採餌、ケリ(3) 2が上空を飛翔 1が水田で採餌 飯泉 仁、村井 治ほか
10. 12〔沼南町泉村新田〕ノビタキ(3) 水田収穫後のワラボッチにいた 飯泉 仁、小山 駿ほか
10. 13〔北新田〕ノビタキ(3) 葦から飛上り捕虫 西巻 実
10. 14〔天王台3〕ヒヨドリ(50±) 南西へ鳴きながら移動 首藤美恵子
10. 14〔沼南町水道橋〕カルガモ(5)、コガモ(11)、キジ(♀1)、いずれも草むらで休息 赤尾 完
10. 16〔上沼〕カワセミ(1) 竹棒に止まる
10. 16〔沼南町岩井新田〕チョウゲンボウ(1)、

- ショウドウツバメ(9) 西巻 実
10. 18 [沼南町大津川二子橋] カワセミ(1) 赤尾 完
10. 18 [柏市弁天下] チョウゲンボウ(1)
10. 18 [柏市弁天下3号排水路] クサシギ(7)
10. 18 [柏市柏下] チョウゲンボウ(1)
- 以上 志賀鉄雄
10. 18 [北新田] ムナグロ(2) 飛ぶ
10. 18 [北新田4号排水路] タシギ(3) 採餌
10. 20 [柏市あけぼの山公園] ツツドリ(1) 青虫を採る 以上 西巻 実
10. 21 [岡発戸、都部の谷津] ゴイサギ(1) 水路で採餌、チュウサギ(1) 畑で採餌、キジ(♂1 ♀1) 草地から山林へ飛ぶ、キジバト(3) 畑から草地へ飛ぶ、ハクセキレイ(2) 水路で採餌、ヒヨドリ(山林に多数)、モズ(♂1) 梢で高鳴き
10. 23 [下沼湖北集水路河口] カンムリカイツブリ(1) 上流へ移動、コブハクチョウ(5)、マガモ(4)、オナガガモ(1)、キンクロハジロ(4) とともに干潟で休息 赤尾 完
10. 27 [柏市豊四季646-39] オオタカ(1) 西から東へ鳴きながら飛んでいった 飯泉久美子
10. 27 [天王台3] ジョウビタキ(♀1) アンテナで鳴く 首藤佑吉・美恵子
10. 27 [岡発戸] コジュケイ(♀1) 林から飛び立つ、モズ(♂1 ♀1) 枝で高鳴き 首藤美恵子
10. 30 [沼南町大井妙照寺] ウグイス(1) 笹鳴き
10. 31 [柏市増尾放水路] キセキレイ(2)
- 以上 志賀鉄雄
11. 06 [岡発戸] ゴイサギ(2)、ハクセキレイ(2)、モズ(♀1)、ウグイス(1)、カシラダカ(7)、アオジ(3)、カケス(1) 首藤美恵子
11. 06 [布施] ヤマガラ(1)、シジュウカラ(1) とともに榎の木に 西巻 実
11. 08 [北新田] オオタカ幼(1) 水路上を低く飛ぶ、ムナグロ(32) 休息、非繁殖羽根
11. 08 [下沼] ハジロカイツブリ(2)、カンムリカイツブリ(1) 赤尾 完
11. 09 [岡発戸] ノスリ(1) 五本松公園上空を旋回して飛んでいた 木村 稔、飯泉 仁ほか
11. 09 [柏市柏下] オオジュリン(1) 秋の飛来の初認 飯泉 仁・久美子
11. 11 [岡発戸] キジ(♂1 ♀1)、モズ(♀1)、ホオジロ(5)、カシラダカ(6)、アオジ(3)、カケス(声) 首藤佑吉・美恵子
11. 19 [北新田] オオタカ幼(1) 電柱に
11. 24 [北新田4号排水路] クサシギ(7) 警戒 以上 西巻 実
11. 24 [中峠NEC隣の田圃] タゲリ(75) 島崎純造
11. 25 [岡発戸] ゴイサギ幼(1)、コゲラ(1)、ヒヨドリ(2)、ウグイス(1) 笹鳴き、メジロ、ホオジロ(1) 首藤美恵子
11. 27 [東我孫子2] キジバト(2)、ツグミ(2)、ホオジロ(3)、アオジ(10+) 林の下で採餌、イカル(2)、シメ(8+) 両種ともムクノキの実を食べていた
11. 27 [岡発戸新田] モズ(♂1)、セッカ(1)
11. 27 [中峠NEC隣の田圃] タゲリ(73+) 田で休息 以上 首藤佑吉・美恵子
11. 27 [湖北台東小斜面林] キジバト(2) 地上で採餌、コゲラ(1) 採餌、ハクセキレイ(2) 路上で採餌、モズ(♂1) 梢で高鳴き、ウグイス(1) 笹鳴き、メジロ(2) 林と人家の植木を往復、カシラダカ(2) 採餌しながら地鳴き、カワラヒワ(2) 電線で地鳴き 赤尾 完

◆ 御 礼

小野勇亮様より多額のご寄付をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

我孫子野鳥を守る会会報 第140号

発行人	木村 稔	我孫子市寿1-21-35	TEL 0471-82-7958
編集	首藤美恵子	我孫子市天王台3-7-2-106	TEL 0471-83-0863
事務局	西巻 実 方	我孫子市久寺家2-5-20	TEL 0471-84-7809
振替	00140-2-51628	我孫子野鳥を守る会	
会費	年額 2,000円	(大学・高校生1,000円、中学生以下500円、家族は無料)	

我孫子市
鳥の博物館

JAN 10, 1998

受付

寄 贈